

彼女達は何を得た?

日本學生綜合聯盟慰問隊の

感想文に拾ふ

日本學生綜合聯盟では農山漁村の現状をみるとと共に増産に感謝の誠を捧げる一面學生と農山漁村の青年との意見交換を行ひ、新日本建設の一基盤となさうと、江木武彦氏の引率の下に男女學生六十五名が、去月二十日から去る三日迄市郡下各地で討論會や音樂會を開催、女生徒連は育兒や縫針奉仕を行つてゐたが好成績裡に終了したので、四日からは今度は會津地方目指して第二期奉仕に移るべく打揃つて若松市へ出發した、都會生活に馴れた女生徒達が、この市郡下十五日間の生活から得ものは何?感じたことはどうか?彼女達は地方をどうみたか?女子共立専門學校三年生二名の感想文に拾つてみる――

燃ゆる自己反省

求道僧の如き眞劍さに驚く

山崎暁子さん

て、その文化の交流を行ふとの
今回の目的は或る程度達成し得
たと信じ得ることは何よりも嬉
しい限りである、生れで初めて
教へる者として敦煌に立つてみ
て、學問的にも体験的にも、今
更らの如く自己の未熟さが痛感の
された、それにも拘らず全身を
もつてぶつかつて来るやうな受
講の方々の熱には何とも感激の
外はなかつた、特に小名済に於
いて著しいことだつたが、一般
に農、漁村の若い人達が、私共
が想像してゐた以上に自己反省
を重ね現實に對して深い觀察を
なし、これから歩むべき正しい
道を求めるに、まるであの求道

(班田植)生年三科服被
んさ子恭幡て

平四丁目 電二六八
想像より進歩的
學ぶべき眞摯さ
山田村の純朴なそ
して美しい人間性
を赤裸々に示し
そこに何等の誇張
もなければ何等の
飾りそもそも虚しい
飾など少しもみせ
ぬ女子青年の方々
と膝を交へて日常

立花町議の性格
▼：高木町長の就任當時から
役場派の闘将として知らる
花秀吉君は昭和十二年六月の
選舉で同兄雄七氏と兄弟鬭を
べて出馬、當選の榮を握つて
る當時の町長は小野晋平氏で
野町長との間は兄雄七氏の大
きな存在ではなかつたこの
法が兄雄七氏の死亡後も續いて
しての存在ではなかつたこの
月の總選舉で非推薦組の總師
として當選した鈴木正君と盟約
▼：かくする中に昭和十七年
月の總選舉で非推薦組の總師

町改革の烽火を擧げ昭和十八年七月小野町長の死以後は君の手腕を縱横に揮ふ時代と較機し來たのである、當時高木町長は利權屋を引き居て百鬼夜行の舊狀態を現出し遂に町會の彈詰を受けて町議員と町長が抱合情死と云ふ空前絶後の一大椿事を惹越した。居▼：この發頭人は何と云ふても立花町議であると黒印を捺すするの最初の揚言は參百萬圓を特許物躊躇せない。かくて補選となり百十名の立候補中に加はり中権以上で當選を見た、他の古參株筆とし會の重要なポストたる地位を六らも最古參株として二十八頭廟との中に新然として頭角を抜き明るの成績、君の揚言三百萬圓よりして募集の質績は半ケ目とし會の重要なポストたる地位を易々たるものであると云ふて邊

言でない、この牛見の頭を持つて
君は、炎熱金を焼かさんとする
酷暑の中に相手變ると主變らさ
い募集班を指揮しての大車輪の寄附
騒鬨は何人をも動かし在留朝鮮
關係兩三名からも巨額の寄附を
得るに至つてゐる程である。
▼唯君かこの全身全體の活
は誰しも敬服措かない處である
が君には珍らしい性僻が一つある
る、短氣一徹の笑嗟に起て突然
的行動である、昔日の力士大約
に似通つた体軀で榮耀の如きを
固を振り廻す事の一事が一舉喰
つて即死の権事を惹き起すの地
本町再建の爲めに健闘を祈る

◆其他諸機械製品
拔

多造販賣及建築設計工事請負ニモ應ジマス
石城郡小名濱町西町六〇(電一〇四番)
福島縣物產株式會社 小名濱出張所
本社 郡山市古館二(電九九、一七九、五八五
張所 福島、若松、白河、上戸
三浦ミシン販賣會 第一
電話 八六四番 平警察署前通り

とであつた、この尊い体験と現在は未だ自己の姿に特別の影響は窺らしてゐないけれども、徐々に消化されるに従つてや私自身のよき成長の一歩となつて現はれるであらうと確信してゐる。

し合へたことは本當に有意義であつた、これは軽々都會と異なり、ひいては新日本建設の大きな原動力になつて呉れるこ思ひ、力強い感に満された典の方々は正しくものを見る準備へてゐられるのは驚いた、して都會の生活にも誤つてゐる点は遠慮なく攻撃されるが、解すべき点は正しく理解して

村で義理の考へは即ちかに間違ひです。その人を戀して、機が熟して、その戀を打ちあけるのが、何が今すぐお葉てなさい。世間と云ふものがあなたがたの觀てゐるいんだ。純な戀と結婚とは別問題だ。俺たちは、——少くとも船員ぐ生やさしいものではあります。俺は、今まであんまりそれをしません。目的の港に向つて進む俺には、波、風、嵐の邪魔物がつづつけて考へすぎてゐた。俺きのものなのです。若いあなたがたのかたらひが一体何を根據にといふものに縛られて、ほがらかに戀入りすることになつたとして、何を基礎にして物語られてゐるのでせう。生活の力強い裏付けも、自分さへ諦めればそれでいいんだ。どこにも差支はありません。戀のない夢物語に過ぎません。

五月雨や零つらねし蜘蛛の糸
浮御堂見ゆる時ありさみだす
高木玲子 森田一舟

一村は雨の中なる田植かな
一の田も二の田も蛙さみだす
佐美紗 松原正男

小兒科 内
酒 売
平市南

科
醫
院
化學全工場製品
東北各縣特約賣捌元
(皮膚病藥) ホドミン(家庭藥) ホドナード(人工
姫(強力染毛劑) 愛染(染料) ホドゼン(余虫劑)
角町(電五番) 負業請
漆應用
塗裝一般
所照八番
光業
防腐劑
コールタ
鈴
ニル

平市糸屋町
加納活版所

工裝塗船
工張出卉は間を返
自建鐵船塗
自動骨塗
車吹
營業安

付イオ裝裝裝
內
裝塗島安
安
名濱町横町四四番

打返す波の白さにさみだる
さみだれに新刊の句誌届きよ
柏崎清志

新装のスタヂオが皆様を
お待ちして居ります

小名濱町本町
助川寫眞スタヂオ